



SPECIAL STEEL

July/2005

すてい〜る

目次

●特集 第9回「定時総会」

● 第9回「定時総会」開催	1
● 支部だより	5
● 平成16年度 特殊鋼販売技士1級資格認定式	8
● 私の愉しみ 出口弘親 スチールテックデグチ(株)専務取締役	10
● 突然おじゃま 遠藤定道 大和興業(株)代表取締役社長	11
● ネオメタル展・第4回金属彫刻作家新鋭展開催	13
● 理事会・委員会報告	14
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)
 TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395
 ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>
 E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

『第9回定時総会』を開催



平成17年6月12日(日)、三重県桑名市のホテル花水木「花翠の間」において90名の出席を得て第9回定時総会を開催し、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 平成16年度事業報告書(案)承認の件
平成16年度収支決算書(案)承認の件
- 第2号議案 平成17年度事業計画書(案)承認の件
平成17年度収支予算書(案)承認の件

冒頭、三上会長は「昨年度は、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産高は2000万トンに迫る勢いで3年連続の新記録となり、会員各社の経営環境も良くなっているようだが、一方で、一部材料の入手難、納期遅延、価格値上げ等、過去に経験したことのない緊迫感のなかにある。本年度も、自動車を始め特殊鋼の主たる供給先の需要は堅調に推移するものと思われ、メーカー各社も昨年度を上回る生産量と収益を見込んでおり、こうした中、流通としてもメーカーとユーザーの間であって双方のコミュニケーションをよりの確に、密接に図っていきたい。また、本年度は全特協としても中期計画の仕上げの年となっている。今後も会員、賛助会員はじめ関係の皆様方に当特協の運営にご理解とご協力をお願いしたい」とあいさつしました(詳細P2)。

総会後には、日本舞踊家の西川まさ子氏(西川流師範)を講師に招いて「日本舞踊へのいざない～舞台姿になるまで～」と題する講演が行われ、西川先生の舞台へ上がるまでの衣装、化粧等の姿形への作り込みの技法を実演していただき、踊り「藤娘」も披露。翌13日(月)には、40名の参加者を得て「愛・地球博」の見学会を開催しました(詳細P3～4)。



三上会長あいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会

三上 聡彦 会長



総会の開催に際しましてごあいさつを申し上げます。

本日は、みなさま大変お忙しいなか社団法人全日本特殊鋼流通協会の第9回定時総会にご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。総会、この後の講演会、懇談会、そして明日の愛知万博見学会など、名古屋支部のみなさまには準備に何かとご尽力をいただきまして感謝申し上げます。

昨年度は、依然好調な中国からの需要に、自動車、産業機械、造船を始めとする国内産業の好調な生産に支えられ、特殊鋼熱間圧延鋼材生産高は2000万ト

ンに迫る勢いで3年連続の新記録となりました。メーカー各社は鉄鋼原料の高騰を克服しつつ、生産合理化などによる量の増大を図り、高収益を上げておられます。流通におきましては、自動車産業のように陽の当たっている業界とそうでない業界、また、取引ユーザーの規模の大小、地域格差など、それぞれの取引環境により景況に対する温度差は当然のことながらあろうかとは思いますが、15年度以降着実な回復基調をたどっており、会員各社の経営環境は良くなっているのではないかと安堵しております。その一方では、需給バランスのギャップから一部材料の入手難、納期遅延、数度にわたる価格値上げなど、過去に経験したことのない緊迫感のなかにあり、「メーカー値上げを転嫁できず流通で吸収せざるを得ない」「材料の確保が難しく大事なユーザーに供給責任を果たせない」という厳しい声も聞かれております。

本年度も引き続き、自動車を始め特殊鋼の主たる供給先の需要は、堅調に推移するものと思われま。また、メーカー各社は需要増に対応すべくボトルネック解消のための設備投資を計画され、昨年度を上回る2000万トン超の生産量とさらなる収益アップを見込んでおられます。「鉄の次代」「鉄鋼の復権」がいよいよ本格化するこのような状況下で、流通といたしましてはメーカーとユーザーと

の間であって、双方のコミュニケーションをよりの確に、そして密接に図っていくことが肝要であると思っております。

また、全特協におきまして本年度は中期3カ年計画の仕上げの年となっております。計画からすでに実行に移され成果の上がっている事業に加えて本年度から取り組む事業などを後ほどご報告させていただきますが、どうか今後とも、会員、賛助会員始め関係のみなさまがたには当協会の運営に対し、ご理解とご協力をお願い申し上げますとさせていただきます。



会員の状況

■正会員数 299会員 平成17年3月31日現在

支部/人数	1~5人	6~10人	11~20人	21~40人	41~99人	100人以上	合計
東京	18	30	15	11	12	11	97
大阪	28	27	18	13	8	5	99
名古屋	15	15	16	10	6	0	62
東北	1	13	0	0	0	0	14
北関東	4	6	1	2	1	0	14
静岡	2	2	1	0	0	0	5
(広島)	0	0	0	1	0	0	1
九州	1	4	2	0	0	0	7
合計	69	97	53	37	27	16	299

■正会員の入会 2会員

入会日	支部名	会員名
平成16年 4月1日	大阪	株式会社タクトク
平成16年12月1日	東京	日立金属工具鋼株式会社

■賛助会員 39社99事業所

支部別内訳

(東京30、大阪32、名古屋24、東北1、静岡3、九州9)

講演会

「日本舞踊へのいざない・・・舞台姿になるまで」

総会後は、日本舞踊家・西川流師範、西川まさ子氏による講演会「日本舞踊へのいざない・・・舞台姿になるまで」を開催しました。本講演会は、実演付きの講習会であるワークショップで、伝統芸能である日本舞踊をより理解するために、その歴史の紹介に加え、普段は垣間見ることのできない舞台裏での役づくり、舞台姿づくりの模様を、衣裳、かつら、化粧などのデモンストレーションを行いながら解説されるという、参加型の公演として開催されました。海外でも数多く講演されているこのワークショップは、伝統芸能を身近に親しみやすく理解できるもので、非常に貴重な講演会だと参加者一同感嘆の声が上がっていました。



【西川まさ子氏・略歴】



本名・Dixon雅子(デイクソン・マサコ)。日本舞踊西川流師範。西川流三世家元・西川右近の長女として名古屋市に生まれる。2歳より舞踊を始め、3歳にて初舞台。15歳の時、西川流苗字内名取として「西川まさ子」の名を許される。舞踊家として数々の舞踊会に出演。帝国劇場公演に年1~2回出演のほか、NHK大河ドラマ「風と雲と虹と」を始めとして、TBS系・CX系ドラマにも女優として数々出演している。



▲「舞台姿になるまで」の実演付き講習会



▲舞踊「藤娘」も披露された



▲化粧、衣裳と参加型の楽しい講演会

「愛・地球博」見学会

『自然の叡智』から学び、 地球環境の未来を考える

総会の翌日6月13日(月)には、約40名の参加者を得て愛知県・長久手町で開催されている「愛・地球博(2005年日本国際博覧会)」の見学会を行いました。当日は、梅雨の中休みの好天に恵まれましたが、30度を超える真夏日となり広大な会場内の行き来にも大いに汗をかかされました。そうしたなか、名古屋支部の方々が「長久手愛知県館」「名古屋市パビリオン・大地の塔」「ワンダーサーカス電力館」「三井・東芝館」の優先入場枠を確保していただいていたおかげで、効率的な見学会を行うことができました。



【名古屋支部長談話】

「万博見て歩き」

名古屋支部長・田島徹也

6月13日(月)梅雨入りしたというのに晴天に恵まれました。平日ということで、多少空いているのかと予想していましたが、万博会場入り口は長蛇の列で、入場するのに30分近くかかりました。暑さと、前日の二日酔いにより、全員汗だくで、とりあえず30分の小休止となりました。会場内は人人と大変混雑していましたが、それにしても、遠足、修学旅行生が多く、最近こんなに多くの子供達を見たのは初めてで、日本も少子高齢化と言われていますが、まだまだ大丈夫なような気がしました。

さっそく、あらかじめ予約しておいた、「長久手愛知県館」に向かったわけですが、手違いで、特別ルートでの入場の話が通じず、一旦は一般客の列に並びましたが、急遽、予約窓口担当者呼び出し何とか並ばずに中に入れました。内容は、一言で言えば、地球温暖化により、氷河が融け、中からアイスマンが出てきたり、又、水没する地域の映像やら、スマトラ沖の津波映像で地球が大変な状況になっていることを大変博士による解説で進んで

いくものです。大変博士の大げさなパフォーマンスに子供達は大変喜んで見っていました。私も水の精が踊る踊りがちょっとセクシーでしたので、真剣に見ていました。

次に行ったのは、名古屋市主催の「大地の塔」で、多くの人が並んでいて、待ち時間110分と書いてありました。こちらも特別ルートで予約してあり、スムーズに見ることができましたが、建物は高く、すばらしいのですが、内容は万華鏡の大掛かりなもので、5分ほど見て退場しました。

次に中部電力の「ワンダーサーカス館」に行きましたが、こちらの方は、3人掛けの車に乗り、館内をぐるぐる回るもので、四季折々の様子をライトアップで見せていましたが、夜の方が良い様です。

次に本日の目玉である「三井東芝館」に行きました。こちらの方は、特別ルートでの入場と言うことではあったのですが、待ち時間が有り多少イライラしましたが、自分の顔を3Dカメラで写してもらい、その映像が映画に出てくるとあって、全員真剣に写真を撮りました。特にきれいなコンパニオンが、前髪が写るとうまく撮れないので手で前髪を上げる様にとの注意を何度も言うので、私は前髪が無いので、非常

に嫌みに聞こえました。内容は、未来の話で、地球が環境悪化で住めなくなり、人類は遠い異星に住んでいた時の話でした。その星からふたたび宇宙船で戻るまでのお話です。

4つのパビリオンを見終わる頃、時間はすでに午後4時を過ぎており、現地に解散ということになりました。万博見学会も無事終了となりましたが、暑い中、ご参加いただいた皆様方には本当にお疲れ様でした。また、名古屋支部の企画・運営ということでお世話させていただきましたが、何かと行き届きませんでしたがお詫び申し上げます。特別見学ルートをお世話いただいた皆様には、本当にありがとうございます。さらには、前夜祭を盛り上げていただきました名古屋支部運営委員の方々に心から御礼申し上げたいと思っております。講師をお願いした西川まさ子社中のみなさまにも本当に感謝いたしております。



支部だより

支部総会開催

東京支部

開催日時：6月21日(火)

開催場所：ホテルメトロポリタンエドモント

委任状を含めて77社が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件



三上会長あいさつ



竹内支部長あいさつ



支部総会の様子

トピックス：

東京支部の定時総会は、6月21日(火)ホテルメトロポリタンエドモントで開催された。

その昔、江戸千代田城の北の守りの要として、数多くの武家屋敷が点在していたが、中でも広大な屋敷を誇っていた讃岐高松藩の上屋敷があった場所にホテルエドモントは建てられており、小高い丘陵地で「江戸の山」と言われエドのマウントからの造語でエドモントホテルと命名されたそうである。

その後、明治22年に開業された甲武鉄道(現在のJR中央線)のターミナル飯田町駅として殷賑を極めた由来のある地でもある。ホテルの敷地内には今でもモニュメントとして軌道が走っている。

そのような、歴史に彩られたホテルメトロポリタンエドモント、第9回の定時総会が出席会員26社、委任状を提出していただいた51社で計77社と総会員数97社の79%の定足数に達し、濱田総務担当委員の司会のもとに行われた。

竹内支部長の挨拶の後、規定に則って支部長が議長を務め、第1号議案と第2号議案、平成16年度事業報告書(案)と収支決算者(案)の説明が茂木事務局長から、監査報告については、平井監事からあり満場一致で承認された。

第3号議案の平成17年度事業計画(案)については、湊総務部会長、渡辺人材育成部会長、鴨山内外交流部会長、碓井広報部会長からそれぞれ説明があり、第4号議案の平成17年度予算書(案)については、茂木事務局長から説明し、満場一致で承認された。

引き続き懇親会に移り、湊総務部会長の軽妙洒落な司会の下、和気藹々の雰囲気の中で、しばし時の経つのも忘れるひとときを過ごした。中締めが発声は、昔取った杵柄で、元・慶応義塾大学の応援部出身の鴨山内外交流部会長が朗々とした声で竹内支部長、三上会長にエールを送り、神宮球場の早慶戦を彷彿とさせるような心地好い雰囲気の中で散会した。

大阪支部

開催日時：6月22日(水)

開催場所：新阪急ホテル

委任状を含めて104社が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件
- ③会員の異動



懇談会：山陽特殊製鋼(株) 桐山常務によるあいさつ・乾杯



総会：佐々木副支部長あいさつ



支部総会の様子

名古屋支部

開催日時：6月12日(日)

開催場所：長島温泉ホテル「花水木」

委任状を含めて74社出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件

トピックス：

全国総会に先立ち開催された。田島支部長、三上協会会長のあいさつのもと議事に入り、第1号議案から第4号議案まで全議案満場一致で承認された。



支部総会の様子

東北支部

開催日時：6月17日(金)

開催場所：山形県天童温泉「滝の湯ホテル」

委任状を含めて29社出席。次の事項を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件
- ③役員の変更のあいさつと紹介



支部総会の様子

四季折々の海の幸 山の幸 宝庫

初回は東北6県の内、山形を紹介し、山形県を大きく分けると酒田、鶴岡を代表とする庄内地区新庄、真室川を代表とする最上地区、村山、東根、大石田、尾花沢を代表とする北村山地区山形、上山、天童を代表とする山形地区、米沢、南陽を代表とする置賜地区があります。

それぞれ四季折々の海の幸、山の幸が味わえますが今回は庄内地区と内陸地区の特産品をご紹介します。

<庄内地区代表 夏の岩牡蠣>

一般的に岩牡蠣は水温が上がると、産卵に栄養を使い果たし、身がやせて味が落ちてしまいます。

しかし、庄内浜は鳥海山からの伏流水が海中に湧き出るところがあり、海水の温度が周囲より5度も低くなります。そのため牡蠣の産卵期が他の地域より遅く、8月過ぎになり、産卵に備えてプランクトンを食べ続けて太っている初夏の今が庄内産岩牡蠣の旬なのです。

<北村山、山形地区代表 山形蕎麦>

そばはいわゆる田舎そばで、挽きぐるみの粉を二八で打ったり、十一で打ったものが普通です。特徴はやや硬めに仕上がっているおり、ボリュームがあり、関東近辺の有名店で出されるような“ちょろちょろ”で一盛ではありません。代表的なご当地のそばは板そば(ごく一般的なそばだがボリュームがある。板に載っています。大根汁のつゆが辛くて美味)、肉そば(肉は鶏

肉の皮付き肉を使用、汁そばだが冬でも冷たい汁で食べる)、鳥そば(鶏肉は脂身付き肉を使用、かなりのボリューム、夏は冷やし鳥そばがおすすすめ)。冷やしラーメンは山形が発祥の地です。冷やし中華ではありません、冷たいラーメンです。山形はらーめんもおいしいのですよ。

<米沢地区代表 米沢牛>

明治4年、上杉鷹山公が創設した藩校「興譲館」に招かれていた英国人教師チャールズ・ヘンリー・ダラス氏は、滞在中に米沢牛を食し、そのおいしさに感激。任期を終え横浜に戻るとき牛を1頭連れて帰りました。その牛を仲間にご馳走したところ、その旨さに驚きたちまち評判になったといえます。以来、米沢牛は100有余年の歴史を誇るブランド牛として愛されてきました。肉牛の種類は黒毛和種とし、置賜管内3市5町の畜産農家で12ヶ月以上肥育され技術に証明印が押印された外観及び肉質・脂肪が優れているものを米沢牛といえます。

<山形県全域>

蔵元59軒、銘柄は200種以上。山形は全国有数の米どころです。豊富な伏流水や清らかな空気に恵まれた山形の風土にあって、杜氏と蔵人が精を込めて作り上げる山形のこだわりの地酒。辛口で豪快なものから、柔らかくて芳醇なものまで以上一度訪れてみたいと思った方、是非お問い合わせの上、山形においで下さい。

東北支部：広報担当 早坂幸彦

北関東支部

開催日時：6月26日(日)

開催場所：塩原温泉「ホテルニュー塩原」

24社が出席。次の事項を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件

トピックス：

総会終了後、市況説明会を開催した。



宮内支部長あいさつ
((株)特殊銅産業新聞社提供)



支部総会の様子
((株)特殊銅産業新聞社提供)

静岡支部

開催日時：7月6日(水)

開催場所：ウイスタリアンライフクラブ熱海

15社が出席。次の事項を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件

トピックス：

総会終了後、市況懇談会を開催した。



原支部長あいさつ
((株)特殊銅産業新聞社提供)



支部総会の様子
((株)特殊銅産業新聞社提供)

九州支部

開催日時：6月22日(水)

開催場所：ホテルセントラーザ博多

26社が出席。次の事項を審議、承認した。

- ①平成16年度事業報告(案)・収支決算(案)承認の件
- ②平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件

トピックス：

協会からの各種「アンケート調査」に対して、“九州支部としても積極的に回答を”との呼びかけがなされた(青柳副支部長)。今年には空梅雨のため、福岡は水不足必至、資源(電力、水等)の有効活用について「すていーる」で取り上げて欲しい(津村委員)。

はがねの日記念行事——「はがねの日」イベントレポート

東京支部

開催日時：4月23日(土) ボウリング大会
開催場所：錦糸町ロッセボウリング
参加者数：58名

[成績]・2ゲームトータルピン数2人1組(女性H'CP1ゲーム10点)
優勝 アサヒステイール(株) 松岡 秀紀・豊島 央志ペア 683ピン
準優勝 加藤鋼材(株) 藤代 康雄・藤森高太郎ペア 645ピン
3位 中山商工(株) 竹下 栄司・栗本 孝之ペア 624ピン
4位 (株)竹内ハガネ商行 中島 憲治・志摩 薫ペア 621ピン
5位 ヤマト特殊鋼(株) 岡田 高信・黒沢 友次ペア 604ピン
ハイスコア 松岡秀紀(アサヒステイール(株)) 200ピン

「はがねの日」制定記念 第52回オール関東特殊鋼親善野球大会

オール関東野球大会も、今年から「はがねの日」制定記念の冠を付した大会となって大いに盛り上がり例年以上に好試合の連続となった。4月2日と16日の2日間に亘って草野球のメッカ神宮軟式球場で16チームが参加、熱戦を繰り広げ、下村特殊精工が伊藤忠丸紅特殊鋼を5-4の僅差で破って栄冠を獲得した。準決勝戦で惜しくも敗退したヤマコー、野村鋼機も素晴らしいチームで来年の活躍に期待したい。

大阪支部

開催日時：4月23日(土) ボウリング大会
開催場所：ボウルインクス
参加者数：153名

[成績]・2ゲームトータルピン数4人1組(女性H'CP1ゲーム30点)
優勝 井上特殊鋼(株) アリチーム 1,350ピン
準優勝 南海鋼材(株) Bチーム 1,315ピン
3位 (株)天彦産業 Aチーム 1,182ピン
個人賞 平井謙太郎(井上特殊鋼(株)) 371ピン
ハイスコア 松本修司(株)天彦産業) 222ピン

名古屋支部

開催日時：4月22日(金) ボウリング大会
開催場所：プランズウィックスボルト名古屋
参加者数：59名

[成績]・2ゲームトータルピン数4人1組(女性H'CP1ゲーム20点)
優勝 翠 教寛(黒田メカメタル(株))、山本周治(株)三悦)、相馬英俊(孟鋼鉄(株))、井川貴史(中島特殊鋼(株))チーム 1,132ピン
準優勝 石田昌敬(石田特殊鋼(株))、植田昌弘(佐久間特殊鋼(株))、徳永俊一(株)竹内ハガネ商行)、石川明広(株)トーキン) 1,097ピン
3位 石田有貴男(黒田メカメタル(株))、伊神奈津子(佐久間特殊鋼(株))、松永美樹(株)竹内ハガネ商行)、深谷秀幸(中島特殊鋼(株)) 1,006ピン

九州支部

開催日時：4月17日(日) 地域ボランティア活動
開催場所：福岡市百道海岸公園清掃
参加者数：55名

内容：参加者全員が「はがねの日」制定記念のT-シャツを着用して清掃作業に従事した。その後福岡ドーム球場で野球観戦をして参加者の労をねぎらった。



地域ボランティア活動



海岸付近の清掃活動のあとはT-シャツ姿で福岡ドームの野球観戦

平成16年度 「特殊鋼販売技士1級」資格認定式



平成17年5月13日(金)、東京・鉄鋼会館において特殊鋼販売技士1級の資格認定式を開催しました。今回の合格者は174名で、全特協の重点事業である特殊鋼販売技士1級の有資格認定者は、累計で1901名となりました。平成16年度の本資格合格者数は別表の通りで、上村英弘さん[サントク精研(株)/東京]、中川真史さん[愛知製鋼(株)/大阪]、島中正臣さん[川本鋼材(株)/名古屋]、原芳之さん[小山鋼材(株)/北関東]が各支部を代表して会長より資格認定書を授与され、日本高周波鋼業(株)・徳松希世恵さんが認定者全員を代表して答辞を述べられました。当日は、経済産業省製造産業局鉄鋼課から糟谷敏秀課長、村田博頭課長補佐、佐野徹流通係長がご来賓として出席されご祝辞を賜り、また、資格認定式

後の祝賀懇談会では、人材育成委員長でもある熊谷多津旺副会長が「1級の資格取得を終えられ、ともすればこれで終わりというのではなく、それぞれの会社でこれまでの勉強の成果をうまく使われ、優秀なセールスエンジニアとして活躍されるよう期待します」とあいさつ。乾杯の後は、3級2級と続いた勉強の日々をねぎらいあいながら、なごやかな懇談が催されました。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長
糟谷 敏秀 様

平成16年の特殊鋼の熱間圧延鋼材ベースでの生産量は、自動車生産が高水準で推移したことや建機、農機が好調であったことなどから、対前年比6.7%の1984万トンと平成14年から3年連続での伸びとなっております。それに伴い、特殊鋼鋼材の販売量も対前年比9.7%と10%近い伸びとなりましたが、他方、自動車をはじめとする生産の海外移転などで、メーカーとユーザーとの需給関係もいままでにはない難しい局面も発生しております。こうしたなか、メーカーとユーザーをつなぐ流通のみならず、現場でのご苦労も並々ならぬことと思われまますが、本日資格取得されますひとりひとりがこの国の経済社会の発展を支えているのだとの気概をお持ちになり、現状に満足せずに刻々と変化するユーザーのニーズを捉えられ、実践的な販売のプロフェッショナルとして、特殊鋼の新しい技術をユーザーの製造ラインに組み合わせ、メーカーとユーザーとの橋渡しのためのコミュニケーションに努めていただきたいと思っております。

会長あいさつ



(社)全日本特殊鋼流通協会
会長 三上 聡彦

特殊鋼販売技士制度とは、われわれ特殊鋼流通業界の先輩方が業界としての『責任と自覚と信用』を高めて、特殊鋼流通のより一層の評価を目指そうと昭和51年にスタートされたものです。本日認定される174名の1級合格者のみなさまも、これまでに2級3級の講習と認定で習得されたさまざまな知識をもとにさらなる研さんをかけられ、ユーザーから信頼され、会社と特殊鋼流通業界の発展に尽くし、さらにはご自身の成長ための力強い基礎となることと確信しております。本日は、おめでとうございます。

講評



検定試験委員会委員長
西村 富隆 様

受験者全員187名の採点後の答案を、くまなく拝見させていただきまして講評を申し上げます。その結果、「非常によくまとまった明快な答案」、「自分なりに整理して簡明に書かれた答案」、「勉強したことを一生懸命に書いてある答案」、「資料を丸暗記して書いてある答案」とタイプが分かれるようです。

一生懸命勉強された人は良い点数をとっておられますが、この検定試験に限らず、勉強で頭に詰め込んだ内容は一度よく整理をして上手に書くように練習を続けていってください。今後も、そうしたことはみなさんの仕事のなかで役に立つはずですよ。

これまで3級2級そして1級と、特殊鋼についての勉強を積んでこられたわけですが、これまでに得た知識を土台にして、これからもさまざまな知識の向上を図り、立派なセールスエンジニアとなってくださるよう期待しております。



▲各支部を代表して認定書が授与された



▲認定者を代表して答辞を述べる徳松希世恵さん



平成16年度 特殊鋼販売技士1級検定試験合格者名簿

支部名	受験者数	合格者数
東京	59	55
大阪	66	61
名古屋	54	51
北関東	8	7
合計	187	174

100点取得者 7名

- [東京支部] Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
野口 竜一 合同製鐵(株)
- [大阪支部] Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
大川 良太 モリテックスチール(株)
- [名古屋支部] Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
奥村 友康 永田鋼材(株)
石田 淳子 〃
鈴木 洋子 大同特殊鋼(株)
- Bグループ〔工具鋼・軸受鋼〕
荒川 直也 中野ハガネ(株)
熊野 裕二 (株)不二越

以上

平成16年度 特殊鋼販売技士1級 合格者名簿

東京支部

Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
合格者29名

- 森田 光威 井上特殊鋼(株)
北田 良一 伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
南保 太郎 中川特殊鋼(株)
秋山 裕樹 〃
岩崎 昇平 〃
西沢 宏仁 〃
斉藤 勇二 三菱製鋼(株)
小林 広司 ダイニチ工業(株)
小野 文彦 野村鋼機(株)
宇野 将英 〃
先水 布美 山陽特殊製鋼(株)
大江 康一 日産レーディング(株)
瓦井 正浩 第一熱処理工業(株)
田中 啓和 浅井産業(株)
小林 久道 (株)ハヤカワカンパニー
塚元 寿幸 (株)平井
吉田 修 〃
小野寺 隆 JFE商事線材販売(株)
金子 謙二 ヤマト特殊鋼(株)
藤岡 克典 〃
長野 順 ヤマト特殊鋼(株)
樋田 光雄 藤田商事(株)
竹村 直樹 〃
高山 博 〃
野口 竜一 合同製鐵(株)
富山 孝 JFE商事(株)
前田 剛 〃
山根 康孝 三井物産(株)
小山 範幸 野村鋼機(株)

Bグループ〔工具鋼・軸受鋼〕
合格者7名

- 芳賀 浩一 青山特殊鋼(株)
水口 秀亮 山陽特殊製鋼(株)
青野 託日 石原鋼鉄(株)
根本 直人 日本高周波鋼業(株)
太田 真二 伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
西田 邦彦 浅井産業(株)
小泉 智史 〃

Cグループ〔ステンレス鋼・耐熱鋼〕
合格者19名

- 谷口 雄太 日本高周波鋼業(株)
徳松 希世恵 〃
江原 裕朗 〃
上村 英弘 サントク精研(株)
豊島 史志 アサヒスティール(株)
藤沢 竜二 中川特殊鋼(株)

- 湯山 吾紀 大同特殊鋼(株)
津波古健志 (株)ブルーラス
益子 秀宗 〃
井坂 貴俊 (株)平井
大原 孝俊 浅井産業(株)
寺澤 大輔 大同特殊鋼(株)
佐村 涉 〃
西岡 里師 〃
藤川 裕之 秋山精鋼(株)
寺西 真樹 〃
荒牧 孝 〃
李 聖泰 大同興業(株)
関 正浩 日本高周波鋼業(株)

大阪支部

Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
合格者26名

- 望月 隆弘 愛知製鋼(株)
高橋 祐介 カネヒラ鉄鋼(株)
田中 俊章 〃
塚田 幸弘 大同興業(株)
遠藤 隆久 大同特殊鋼(株)
竹田 一彦 〃
網干陽一郎 アサヒスティール(株)
真鍋 亮一 〃
細井 泰之 〃
河村 大介 〃
石井 敏博 井上特殊鋼(株)
佐治 寿治 〃
吉川 真一 〃
高野 将志 〃
間島 八郎 辰巳屋興業(株)
小林 桂五 阪神特殊鋼(株)
岡田 直樹 〃
宮本 宗典 〃
松原 圭司 阪和興業(株)
葉山 繁一 〃
川村 和雅 〃
山崎 秀樹 山崎鋼鐵(株)
尾野 忠 陽鋼物産(株)
尾越 明弘 太平鋼材工業(株)
佐々木充義 日本ファスナー工業(株)
大川 良太 モリテックスチール(株)

Bグループ〔工具鋼・軸受鋼〕
合格者26名

- 越智 一禎 植田精鋼(株)
百瀬 大介 山陽特殊製鋼(株)
森岡 真善 大同アミスター(株)
岡村 彰大 日立金属(株)
澤 建治 〃
緒方 明 ウメク(株)
岡野 成紀 〃
高塚 章司 〃
熊野 岳夫 扇鋼材(株)
高安 秀典 加藤鋼材(株)
大木 靖裕 (株)カムス大阪テクノセンター
竹内 直人 三和特殊鋼(株)
有村 晴治 〃
川添 博行 日立金属工具鋼(株)
今村 暢也 日立金属アドメット(株)
今西 真登 菱光特殊鋼(株)
小松 鉄平 〃
山城 勝利 ウッデホルム(株)
峠元 良偉 〃

Cグループ〔ステンレス鋼・耐熱鋼〕
合格者16名

- 中川 真史 愛知製鋼(株)
西元 孝治 大同興業(株)
白木 昭光 〃
岡野慎一郎 大同特殊鋼(株)
石川 将巳 井上特殊鋼(株)
辻 秀樹 大和特殊鋼(株)
松本 圭司 〃
前田 祐司 田島スチール(株)
長谷 雅文 〃
片山 健 辰巳屋興業(株)
河合 敏彦 (株)阪神メタリックス
田中 浩一 阪和興業(株)
長根 武仁 松井鋼材(株)
熊田 司 陽鋼物産(株)
塚本 英之 モリテックスチール(株)

李 曉林 (株)天彦産業

名古屋支部

Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
合格者22名

- 武藤 真史 愛鋼(株)
佐々木将也 浅井産業(株)
田野 嘉隆 〃
畠中 正臣 川本鋼材(株)
連尾 真治 (株)交邦磨棒鋼センター
湯浅 太二 孟鋼鉄(株)
谷口 竜也 辰巳屋興業(株)
奥村 友康 永田鋼材(株)
石田 淳子 〃
木股 立夫 (株)ハヤカワカンパニー
鶴見 正仁 〃
安部 浩通 愛知製鋼(株)
大島 康宣 大同特殊鋼(株)
鈴木 洋子 〃
櫻井 大輔 〃
飛田 文晴 〃
坂谷 康輔 〃
北原 圭 〃
野内 政宏 〃
米沢 明浩 〃
田中 潤 中部特殊鋼(株)
日置 智宏 八木鋼材(株)

Bグループ〔工具鋼・軸受鋼〕
合格者22名

- 関本 雅利 石原鋼鉄(株)
中村 昌明 〃
佐野 光宏 小山鋼材(株)
加古 岳士 (株)三悦
加古 真裕 〃
山田 和豊 〃
深谷 秀幸 中島特殊鋼(株)
兼松 利和 中野ハガネ(株)
野本 善則 〃
野村 和正 〃
荒川 直也 〃
柘植 克之 名古屋特殊鋼(株)
平田 哲士 〃
久網 恒夫 〃
眞田 明 〃
佐高 広嗣 日立金属商事(株)
森 竜男 (株)山一ハガネ
井上 健介 〃
土平 勝久 〃
田中 大輔 〃
下坂 勇介 〃
熊野 裕二 (株)不二越

Cグループ〔ステンレス鋼・耐熱鋼〕
合格者7名

- 森谷 尚弘 佐久間特殊鋼(株)
吉川あかね 下村特殊精工(株)
八木 史 大洋商事(株)
小栗 匡介 大同特殊鋼(株)
斉藤 優司 〃
坂井 康郎 〃
桜井 一彦 〃

北関東支部

Aグループ〔構造用鋼・ばね鋼〕
合格者1名

- 小池 孝明 住商特殊鋼(株)

Bグループ〔工具鋼・軸受鋼〕
合格者6名

- 小林 敏雄 小山鋼材(株)
海老原一徳 〃
原 芳之 〃
斉藤 茂 (株)竹内ハガネ商行
松本 吉行 〃
今田 正博 〃

私の愉しみ

スチールテックデグチ(株) 専務取締役／出口弘親
http://www.deguchi.com



黎明期より親しむパソコン歴 「最新のテクノロジーに触れる喜びが大きい」

■東海では珍しく溶断加工も手がける会社

名古屋市南区に所在するスチールテックデグチ(株)は、金型メーカー、歯車メーカー、設備メーカー等をメインユーザーに構造用鋼、工具鋼等の製品を取り扱う。

「製品の付加価値を高めるために、ここ数年は外注加工の取り扱い強化を図ってきたのが特徴です。機械加工、溶接加工などを施して納入することで、よりユーザーニーズに応える製品を提供して競争力アップを図ろうというものです」とは、出口弘親専務。「また、自社工場内にガス溶断機を備えていることも特徴です。自社内で溶断加工まで行っているのは、東海地方の特殊鋼流通業では珍しいはずですよ」と語る。「基本的には、なんでも屋ですが」と笑いながら、「さまざまな鋼材ニーズに対応できるよう、溶断といった独自性と10台のバンドソーによる迅速な切断加工及び協力工場群による加工とで、ユーザーさんにすぐご利用いただける製品を送り出していると自負しています」と胸を張る。

■ビジネスのヒントも多い協会活動

昭和36年生まれの出口専務は、大学卒業後、トヨタ自動車に13年間勤務した。東京本社勤務が主で、海外部門をメインにモータースポーツにも携わった異色の経歴を持つ。

「営業、マーケティングといった分野で、欧州、中東、アフリカ、中南米など30カ国以上を回れたことは貴重な経験です。国が違って商売の基本は通じるものがあるという、いい勉強ができました」と振り返る。創業者である父・正敏氏の経営する現在の会社に入ったのが8年前。「この業界では新参者なんですよ。に入った当初は鋼材に関する知識はほとんどなくて」と苦笑いする。「そうしたこともあって全特協、特にいま籍を

置かしていただいている青年部会での活動は非常に有意義です」と協会活動への想いを語る。「同業者のみならずと全国規模でのつながりが持てるのがまず貴重です。示唆に富んだ情報交換ができ、さらに、地域を超えた輪であるというのも重要なことです。とかく発想が似かよる同地域では得られない情報に出会えることもある。また、地域が異なれば、利害関係を超えた意見交換ができる」と出口専務。

「正直、最初はウチみたいな小さな会社が協会活動をやってメリットがあるのかな?とと思っていましたが、ビジネスのヒントになることは多かった」とその効果に大きな手応えを感じているという。

■トヨタでは初のメールアドレス取得

そんな出口専務が没頭してきたのがパソコン。パソコン黎明期の頃から自作機を製作し、現在でも会社のシステム構築をほとんど一手に担当している。

「初めてのパソコンは82年、大学2年生のときのシャープMZ-2000です。当時はBASIC言語でゲームプログラミングをしていた程度で、まあ、パソコンで遊んでいたという感じですね。新しいチップセットやCPUが発売されるたびに自作機を製作し、その数は現在まで10台に上るとか。「新しい知識を得て、組み立てるまでが楽しかった。そのパソコンを何に使った?と聞かれると困るのですが」と苦笑いする出口専務。94年、トヨタに在籍していた頃だが、日本初の商用プロバイダ「IIJ」のサービス開始とともにこれと契約するよう会社に折衝。「当時はインターネットという言葉も浸透していなくて、それに関する書籍も10冊もなかった時代です。会社のほうも『そんなものに金が使えるか』といった感じで説得には随分骨が折れました」。あのトヨタでわずか10年ほど前の話である。「トヨタで初めて名刺にメールアドレス

を入れたのも僕なんです。この時も、『会社の顔である名刺に、そんな訳の分からないものは入れられない』という総務部とケンカになったくらいだったんです」。日進月歩のインターネットの世界ならではの笑い話である。

■モバイル、LANと先端技術を実践

96年には当時初めて本体1kgを実現した「ThinkPad220」を購入してモバイル・パソコンを実践する。中南米各国への出張時にはパソコン1台とモデムを持ち歩き、日本とのデータ送受信を実験した。そして、まだホームページ作成ソフトのない96年に、テキストエディタからソースコードを書いて…という手法で個人ホームページも開設。とにかく最先端を走り続ける出口専務であった。

「ハードにしるシステムにしるインターネットにしる、構築するのが楽しかった。最新のテクノロジーに触れている、それを確かめている自分…というのに喜びを感じていたんでしょね」と語る出口専務は、現在の会社でもハード、システム、ネットワークはすべて自身で構築と管理している。自宅と会社のパソコンもインターネット経由でLAN間接続されているため、同じ作業ができる環境にあるという。「自宅のパソコンからも日報が確認でき、自宅で作った見積書を会社のプリンターに出力できます。出張先のホテルからでも同様。この便利さを実感したのがインフルエンザで1週間寝込んだ時。急ぎの仕事も自宅が変わりなく行えました」と出口専務は語る。

「もっとも、成功事例ばかりではなく、投げ出しそうになったり、原因不明のトラブルで泣き出しそうになったことは数え切れないんですがね。最近のテクノロジーはどんどん難しくなって頭が痛いですが、新しい動きは敏感にキャッチしていきたいですね」と目を輝かせる出口専務であった。

突然おじゃま



大和興業(株)代表取締役社長／遠藤定道

愛知県東海市にある大和興業(株)は、みがき特殊帯鋼とばね用ステンレス、そして電磁軟鉄板(純鉄)を主力とする会社である。遠藤定道氏は昭和37年生まれ。慶応大学工学部を卒業後、日新製鋼の研究所勤務を経て2000年に社長に就任。トヨタ自動車の経営理念に学びながら、堅実経営、生産現場の効率化、そして人間性の尊重などを柱に会社経営にあたっているという。遠藤社長の経営観念とその取り組みについてうかがってみた。

「人間性の尊重」を根幹に置き、経営効率化に取り組む

■トヨタ車の半数をシェアするばね材

大和興業(株)の主力商品であるみがき特殊帯鋼とばね用ステンレスは、全特協をはじめとした特殊鋼流通業界でも、取り扱い社数の比較的少ないいわば“レア”な製品である。大和興業(株)は、東海地区では主にトヨタ自動車関連会社に自動車のエンジン周りのホースクリップとなるばね材を、岡谷に拠点を持つ長野地区では、コピー機やプリンター、デジカメなどの“押さえばね”となる材料を各々主に出荷している。

特に、自動車のボンネットを開けると各種のホース類を留める役割をしているホースクリップに関しては、全トヨタ車のおよそ半数をシェアしているという有力企業で、最新鋭のスリッターラインとオシレートライン(緩巻機)を駆使して、ユーザーニーズに即した多品種かつ高精度な製品群を生産・出荷している。

「創業以来、『品質は工程内で作り込む』というトヨタイズムを徹底して実践しています」と遠藤社長。ホース周りに使うばね材は、亀裂やバリは即致命傷となる。そうした、製品精度の確保・向上も限られた工程のなかで効率的にこなしていくのは、取引先まで浸透するよう徹底されてきたトヨタ流の生産思想だという。昨年5月には名古屋市熱田区から生産・営業等の各種会社機能を集約するために現所在地に移転も果たした。ゆとりある社屋に最新の設備群を完備し、さらなる顧客サービスに乗り出そうとしている大和興業(株)および遠藤社長である。

■「宝の山」という現場主義

「機械は動かせませんが現場に足を運ぶことは大好き。現場は『宝の山』です」と語る現場主義の遠藤社長。日々、生産現場のスタッフと効率改善や安全性の確保に関するディスカッションを行なっているという。

「まずは安全第一。安全なくして顧客への信頼に応えることもできませんし、会社内での誇りも維持できない。安全に対する投資は惜しみません」という遠藤社長。日々絶え間なく進めているKAIZEN活動は全て現場スタッフの意見を尊重し、“提案型”でなく“実施済み”KAIZENを原則としている。社長はそれらの“実施済みKAIZEN”の効果・安全性を、現場へ足を運び自らの目で確認し、賛辞・ねぎらい・アドバイスを送るスタイルをとり続けている。

「時には現場とやりあうときもある」と笑うが、そうした現場の主体性を尊重し、現場に身を置くことでしか効果ある改善と社内の活性化は達成できないと考えているからこそ、「現場こそがもっとも面白くそして大事」と相好を崩して語るその言葉にも真実の迫力と重みを感じられる。

■「トヨタに謙虚に学ぶ」経営姿勢

たゆまない効率化改善に向けた取り組みも、これ実はトヨタイズムに端を発するものである。

「ここ数年、社内の取り組みとして『TKM』活動ということをやっているんです」と遠藤社長。TKMとは“トヨタから

謙虚に学ぶ」という頭文字を取ったものだそうだ。その思想の基本は“乾いた雑巾をさらに絞る”式の世上よく語られる効率化、省力化主義はもちろんのことだが、根幹を成すものは『人間主義』『人間性の尊重』であり、それなくして真の活力は生まれないと遠藤社長は語る。

「すべては人間が元になっているということです。人間の幸せなくして経済的な発展もありえないということでしょうか」。

「人生の3分の一を捧げている仕事なんですから、『中身の濃い仕事をしよう』ということです。そして『付加価値を高め、社会に貢献していけば』楽しさも増す、対価も付く、報酬も上がる、いいことづくめになるはずなんです」とその真髄を語る。

「特に近年、アメリカ亜流ともいえる『優勝劣敗』ばかりを強調した競争主義ばかりが目立ちますが、そればかりではないトヨタ式の経営思想が日本ばかりか世界をも席卷しているということは、地元中部の人間としてはもちろん、日本人としても同じ製造業に携わる人間としても誇らしいものがあります」と遠藤社長はいう。

「ですから、安全第一も人間性の尊重、現場との“けんけんがくがく”のディスカッションも同じく、いかに安全に無駄なく楽しく仕事をするかを追求することが人間性の尊重」とその取り組むべき姿勢を語る。地域としても、また取引先としても身近に巨大で最良となる手本を感じながら学びながら経営に携われる遠藤社長

はじめ大和興業(株)のみなさん。まことにうらやましい限りである。

■趣味はドラムなど楽器演奏

さて、シユアにそして熱くビジネスに取り組む遠藤社長だが、プライベートに戻れば音楽好きな一面をうかがわせてくれる。JAZZを基本に、ポップスではドリームズ・カム・トゥルーなどが好みだという。

慶応大学では「ポップスオーケストラ」という軽音楽主体のサークルに所属。現在でも自宅にドラムセットを所有し、スティックを握ることもあるという。

「リズム楽器が好きなのですが、メロディー楽器も好きですね。最近では、電子式のトランペットを購入して、好きなJAZZの旋律をなぞったりしてます」とのこと。悩みのタネはメンバーがいないこと。

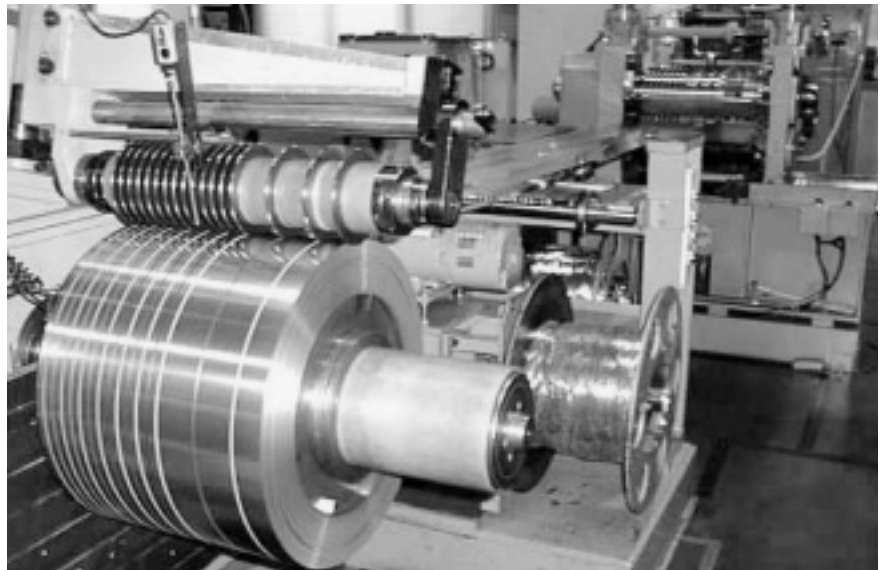
「今では、一緒にバンドを組んだメンツも散ってしまって。特に、リズム楽器はひとりで演奏しててもつまらんでしょう。せっかく身に付けた技能ですからサビさせるのがもったいなくて」と演奏に関してはウズウズしている模様である。

「そんなわけで、メンバー募集しときます。少しくらい遠くても、バンドできるん

なら飛んでいきますよ」と、好きな楽器演奏の話となると身を乗り出さんばかりに饒舌となる遠藤社長である。



みがき特殊鋼、ステンレス鋼帯を主力商品とする



最新式のスリッター機



「金属彫刻作家新鋭展」青年部会が協賛 「ネオメタル展」が開催されました

3月22日(火)から4月2日(土)の間、銀座「ギャラリーせいほう」で全特協・青年部会が協賛する「ネオメタル展」が開催されました。本展は、特殊鋼文化の普及啓発と促進を目指して、青年部会が2002年より協賛する東京芸術大学と筑波大学の若手アーティストの選抜展「金属彫刻作家新鋭展」(千葉県印旛郡/「メタル・アート・ミュージアム光の谷」で開催)の特別企画展で、『ネオメタル』=金属素材を超えた表現=をコンセプトに、「さらなる金属の可能性とその造形表現」を提示して金属の魅力を広く社会へ波及させようという意欲に満ち溢れた展覧会です。出展は、東京芸大より浜田周氏、リ・ユンスク氏、筑波大より伊東知之氏、白石英二氏といった新進気鋭のアーティストたち。さらに、普段は指導的立場にある中村義孝氏(筑波大教授)、木戸修氏(東京芸大教授)、北郷悟氏(東京芸大助教授)らも賛助出品され、非常に充実した企画展となりました。

展覧会最終日の4月2日(土)には、出展作家と青年部会員から堀田部会長、松岳、近藤の両副部会長とによるアーティストトークも行われ、展示作品への質疑応答とともに文化・創造・芸術という分野への企業団体の取り組みについての可能性と豊富が語られました。



第4回金属彫刻作家新鋭展

青年部会が協賛する「金属彫刻作家新鋭展」も今年で4回目を迎え、7月2日(土)からは岩井基生氏(筑波大学)と柳原絵夢氏(東京芸術大学)のお2人による『FOUNDATION』と題した企画展がスタートしています。この企画展において、岩井氏は「『御不洒落』…くだらない、ふざけたことを言う」をテーマに、『おっさん』をモチーフにした具象作品を出展。柳原氏は「あちら側の世界への扉、道具」をテーマに、ステンレス材を用いた躍動感のある作品を出展されています。開催期間は7月31日(日)まで。(於：メタルアート・ミュージアム光の谷)



柳原絵夢氏



柳原氏作品「Fruit」



開催初日にあいさつする渡辺業務部長



展示の様子



岩井基生氏



岩井氏作品「不洒落親分」

理事会・委員会報告

第23回理事会

日時：5/13 於：鉄鋼会館

出席者：16名

内容：(1) 議案 第1号議案 平成16年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)承認の件
第2号議案 平成17年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件
第3号議案 会員の入・退会承認の件
(2) 報告事項
(3) その他

第36回運営委員会

日時：5/13 於：鉄鋼会館

出席者：17名

内容：1. 平成16年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について
2. 平成17年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
3. 会員の入・退会について
4. 支部報告
5. 委員会報告

第21回内外交流委員会

日時：3/11 於：大阪・鉄鋼会館

出席者：10名

内容：①平成17年度委員会事業(案)・収支予算(案)について
②中国南部視察研修実施(11月)について

第22回人材育成委員会

期日：6/7 於：東京・鉄鋼会館

出席者：10名

内容：1. 平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)について
2. 特殊鋼販売技士3級講座開講について

人材育成委員会

特殊鋼販売加工技士検定試験委員会

日時：6/7 於：東京・鉄鋼会館

出席者：13名

内容：1. 特殊鋼販売技士3級試験問題選定
2. 平成17年度人材育成事業日程報告

第24回調査研究委員会

日時：3/7 於：東京・鉄鋼会館

出席者：9名

内容：1. 平成17年度委員会事業計画(案)・収支予算(案)について

調査研究委員会

将来ビジョン等に関する報告書最終検討会

日時：4/18 於：東京・鉄鋼会館

出席者：17名

内容：1. 報告書の最終検討
2. 5月中旬に印刷完了・会員各位に送付予定

第5回経営効率化委員会

期日：3/8 於：名古屋・名鉄ニューグランドホテル

出席者：12名

内容：1. 平成17年度委員会事業について
2. 「切断原価に関する勉強会」パート2の開催について
3. 共通通い箱「おかよちゃん」の継続普及について
4. 「全特協ISO塾9000」の開催について
5. 法律無料相談窓口の開設について
(平成17年4月1日から)

第7回青年部会運営委員会

期日：3/4 於：東京・鉄鋼会館

出席者：23名

内容：1. 「はがねの日」イベントについて
①平成17年度青年部会事業計画(案)・収支予算(案)について
②ネオメタル展を共催
③特殊鋼ワールドPRリーフレットの発行
2. 第5回青年部会定時総会開催について
9/2～3日愛知万博会場内のロータリークラブ館で開催予定

講演会：3/4 於：東京・製粉会館

出席者：65名

演題・マスクを通して見た野球表裏

講師・布施 勝久氏

事務局だより

1 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

1. 当協会の担当でありました糟谷敏秀課長が、平成17年7月1日付けで、産業技術環境局環境政策課長にご栄転となりました。後任は、安藤久佳氏(大臣官房政策審議室長から)
2. 村田博顕課長補佐が、平成17年6月15日付けで、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構に転出されました。後任は、小泉朋幸氏(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構から)
糟谷課長様には平成15年7月11日から、又、村田課長補佐様には平成15年6月1日から当協会の運営についてご指導をいただきました。ありがとうございました。新天地でのご活躍を祈念しております。

2 「はがねの日」制定記念T-シャツについて(広報委員会)

4月1日を「はがねの日」と制定した記念にT-シャツを作成し、会員企業には1着づつ無償配布致しました。協会が作成したT-シャツを@1,260円(税込み)でお分けいたします。(送料はご負担いただきます。)LL、L、Mの3サイズがあります。ご希望の方は協会事務局までご一報下さい。(TEL: 03-3669-2777・渡辺 迄)

3 「法律無料相談窓口」の開設について(経営効率化委員会)

平成17年4月1日から、飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員企業の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設致しました。会員の皆様が経営上の法律相談や、契約締結等に関する助言をご希望の場合に無料で対応させていただきます。

・ご相談先: 飯田法律事務所 TEL: 03-3666-3838

飯田法律事務所には、弁護士の先生が多数いらっしゃいますので、いつでもご相談ください。電話でのご相談は無料です。

- ・御相談の流れ: ① 全特協「法律無料相談窓口」を利用したい旨お伝え下さい。
② 「全特協の所属支部名と会社名」をお伝え下さい。
③ 相談内容を簡単にまとめてお伝え下さい。
④ その後、弁護士の先生と直接具体的な相談を始めてください。

・ご相談内容は守秘義務がありますので協会には一切報告されません。

・詳細については協会事務局までお電話下さい。ご説明いたします。

(協会事務局: 03-3669-2777 担当・渡辺)

4 「切断原価に関する勉強会(第2弾)」の開催について(経営効率化委員会)

湯野沢栄勝先生による勉強会パートⅡを開催します。各支部での開催日程を現在湯野沢先生と調整中です。

開催ご案内がお手元に届きましたら、多数の会員様のご出席をお願いいたします。第2弾は、営業責任者及び工場管理者を対象とし、各社、具体的な数字を持ち寄って勉強会の会場でパソコンを使って、切断原価の計算をしていただきます。

5 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋をひきつづき20%引きで実施中です。ご希望の方は協会事務局までご一報下さい。(TEL: 03-3669-5803 担当・茂木)

6 共通通い箱「おかよちゃん」鉄網製新価格

平成16年10月1日以降 鉄網製「おかよちゃん」は新価格を適用してきましたが、ここにきて、メーカーから更なる値上げの要請がありました。経営効率化委員会で審議いたしました結果、昨近の線材市況の高騰を鑑み、メーカーからの要請を受けることとなりましたのでご報告申し上げます。

平成17年6月21日以降の会員各位への仕切り価格は次のとおりです。(ご指定倉庫車上海渡し、請求書到着後振込み)

◎鉄網製(大)@9,000円 ◎鉄網製(中)@7,100円 ◎鉄網製(小)@4,200円

注文用紙は、協会事務局にごございますので御連絡下さい。(Tel: 03-3669-2777 担当・渡辺)

編集後記

本年度の定時総会は第9回を迎え、全国各支部から多数の参加をいただき、6月12日(日)晴天にも恵まれ、長島温泉「花水木」で総勢90名の盛大な総会となりました。

総会終了後の西川先生の、熱意あふれるお話に、会場の雰囲気も大いに盛り上がり、翌日の愛知万博見学と共に、予想以上の反響を見ました。

協会の事業報告は、中期3ヶ年計画の最終年度にふさわしい内容でした。

当委員会も誌上の充実をはかります。

皆様の更なるご協力をお願いいたします。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／竹内誠二